

《空と海から新しい横浜と歴史あるハマのシンボルを見に行こう》

日時:2021年10月6日(水) <ゆったりコース> 天候:晴れのち曇り 6300歩 約4km

集合:JR関内駅南口 13時30分

コース:関内駅→横浜開港記念会館→新横浜市庁舎→北仲ブリック&ホワイト→運河パーク→桜木町駅

参加者:L=平嶋 吉越 平石 熊坂 大平 高橋文 小野里 青松 熊島 佐藤繁 小林 山内 伊藤美 小島 桑原
奥村 吉岡 鈴木宏 計18名

「祝！緊急事態宣言解除」と言いたいところですが、感染者数は確かに減少しているものの、今後の第6波を考えると楽観的なことは言えません。まだまだ感染防止のためのマスクと手洗い、できるだけ人混みを避ける生活が必要です。とはいえ、今月からウオークが再開したことは喜ばしいこと。そこで私にとっては再開第一号の“横浜歴史散歩”に参加してきました。

駅を出て、まずは横浜開港記念館を見学。ここは11月30日に一旦閉館となりリニューアルするそうです。何度となく訪れた場所ですが、今回は各4・5人ほどのグループに分け、説明員の方から丁寧な説明を受けました。改めて話を伺うと、この建物が国の重要文化財に指定されている理由が理解できました。館内には開港当時の横浜を描いたステンドグラスもあり、重厚な室内装飾と共に大正ロマンが漂っています。この日のお目当てはロープウェイ「YOKOHAMA AIR KABIN」、元来、吊り橋と高所が苦手な身ですが、4月22日の開業時から一度は乗ってみたいと思っていました。今回こうして皆さんと一緒にならば大丈夫だろうと乗る気でいましたが・・・何と本日は点検日でロープウェイは休み！それを知り全員ガックリ・・・その代わりに「北仲ブリック&ホワイト」ビルの46階フロアから、ベイエリアの展望をゆったりと楽しむことができました。

皆さんからは、コースを変えてでも「ロープウェイに再挑戦を」の声が聞こえたのは言うまでもありません。是非また！

<フォトレポート 小島>



<集合場所の根岸線関内駅南口。久しぶりに顔を合わせる人々もいて話の輪が広がっていました>



予定通り全員集合しスタート。木々も色づいてきました。



近くの裏路地を利用し平嶋Lから今日のコース説明。



横浜開港記念館の裏側から...



ここは横浜商工会議所発祥地。



正面入り口から入館。(本日初の階段)





2階広間の正面左右には、呉越同舟/箱根越えのステンドグラスがある。(上部には鳳凰も・・・撮り忘れた)



グループごとに説明員の方から詳しい説明を受けながら見学。開港当時の様子や建物について大変勉強になりました。



階段の踊り場を飾るステンドグラス。鷗・黒船・富士山も描かれた素晴らしい作品です。



八角形をした貴賓室の天井。これも大正ロマン？



廊下を照らす電灯。趣が感じられるデザインです。



人間の目の様な電灯。館内には丁度良い明るさです。



こちらも廊下を照らす。雰囲気を出しています。



この地は明治の美術家でもある岡倉天心生誕の地で、建物横には記念碑が建てられている。



外に出ると雲行きが怪しくなってきた。降らないで～



後で上がることになる北仲ブリック&ホワイトビル。



2020年6月に出来上がった横浜市新庁舎。



一階エントランス。広場スペースでは独唱会がある模様。



まだピカピカのエスカレーター。2・3階にはテナントも入っている。上に上がって何をする？



先ほど見上げた北仲ブリック&ホワイトに入る。



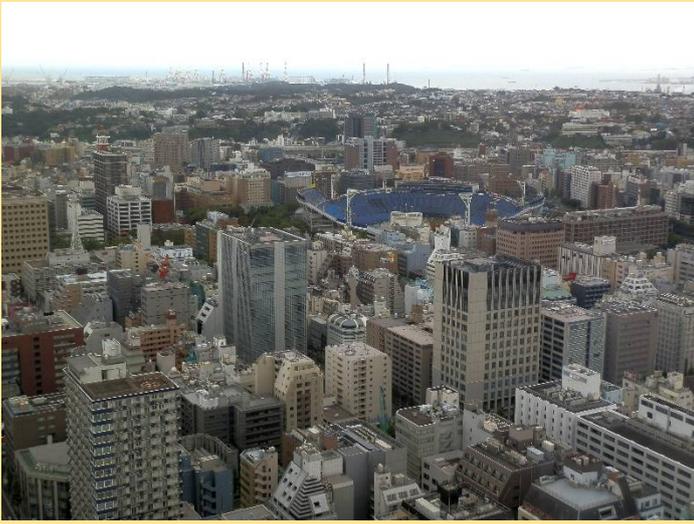
46階フロアから見下ろす大栈橋&象の鼻とベイブリッジ。青空ならもっと良かったのに残念！



乗れなかったロープウェイ。ゴンドラも格納中。



よこはまコスモワールドも上から見るとミニサイズ。



眼下に横浜スタジアム。今期のベイ、元気がないですね。



真上から見る裏通り。高所はダメでもここならOK。



点検日でロープウェイが休みと知りLもがっかり・・・



それを聞いて気の抜けた面々。とりあえず座ることに。



46階展望フロアにて全員集合。バックが明るいので皆さんの顔が暗くなってしまった。



目の前にはランドマークも。ここも結構高いですよ。



無料でこの展望が楽しめるなんて・・・ここは穴場です！



今にも降り出しそうな空の下、万博橋を渡る。



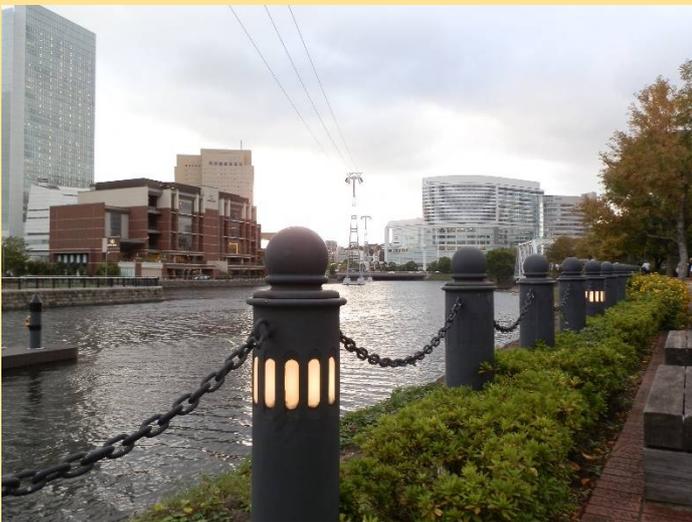
橋上から見たランドマークとコスモクロック。



ヨコハマエアキャビンの乗り場前で全員集合。予定ではここから乗るはずだったが・・・残念。



旧横浜駅と新港埠頭を結ぶ臨港線廃線跡の一部を緑地として残した汽車道。明治が偲ばれる。



陽も傾きはじめプロムナードにも灯が。



頭上を恨めし気に見上げつつ桜木町駅へと向かう一行。

<今日の一言>

淡谷のり子の名曲「別れのブルース」の歌詞にでてくる「メリケン波止場」、恥ずかしながら今日までてっきり横浜港の事だと思っていたのですが、横浜開港記念館での説明を聞き神戸港のことだったと知りました！

「一年が早く感じるようになったら年をとった証拠。嘆くべきは、年老いたことよりも目的もなく生きることだ」と、中国の古典籍の「呻吟語」にあります。年をとってもまだまだ学ぶべきことはいくらでも有りそうです。

END